



志位和夫



はたの君枝



さいとう和子

発行 日本共産党国会議員団  
2020年1月 南関東ブロック事務所  
横浜市神奈川区西神奈川1-10-16  
斎藤ビル2F Tel. 045-324-6516

# 国会活動報告

## 野党連合政権の道開く国会に 党議員団総会で志位委員長があいさつ



1月20日、第201通常国会が召集されました。先立って国会議員団総会を開催し、志位和夫委員長は、「綱領改定、共闘前進と党躍進、党建設をすすめる方針を確立した第28回党大会の成果を存分に生かし、この国会を市民と野党の共闘をさらに大きく発展させ、野党連合政権に道を開く国会にしていこう」と呼びかけました。通常国会に臨む基本姿勢とし

国会議員団総会であいさつする、志位和夫委員長

て、「追及とともに希望を語ろう」と訴え。「追及」では、「桜を見る会」疑惑、カジノ汚職について「野党共闘で徹底的に追及することを宣言します」と語りました。

## 山梨県委員会、県知事に予算要望

党山梨県委員会は1月8日、県庁内で長崎幸太郎知事に対し来年度の予算要望を行い、懇談しました。要望書では「消費税増税後、新たな消費不況が深刻化している」と指摘し、子育て支援、高齢者の福祉や介護の課題、中小企業支援等、暮らし福祉の充実のために県民に寄り添う県政の一層の推進を要求。ジェンダー平等の推進、妊婦検診の公費負担の増額、国保料・介護保険料の引き下げなど93項目を求めました。

長崎知事は「要望項目には重要な論点もある。予算に盛り込めるものは盛り込みたい」とこたえました。懇談には、花田仁党県委員長、こごし智子県議、植村道隆、渡辺光啓、大久保令子の各党地区委員長、菅野幹子党県政対策委員が同席しました。



左から、渡辺氏、大久保氏、花田氏、植村氏、こごし県議=1月8日、山梨県庁



日米共同訓練反対を訴える、さいとう氏ら=1月9日、津田沼駅前

## 日米共同訓練やめて 千葉県習志野演習場

党千葉県西部地区委員会は習志野市の津田沼駅前で1月9日、陸自衛第一空挺団が12日に予定している習志野演習場での降下訓練始めと、米政権によるイラン司令官殺害、自衛隊中東派兵にたいする抗議宣伝を行いました。さいとう和子衆院比例候補、丸山慎一前県議、船橋、習志野、八千代の各市議らが参加しました。降下訓練始めは、2017年以来米陸軍の参加人数と規模が拡大し、今年は初めて米空軍が参加しました。

# カジノ汚職 野党追及本部、山下ふ頭を現地調査



山下埠頭を視察する、はたの議員、塩川議員ら  
=1月14日、横浜市中区

野党の「カジノ問題追及本部」は1月14日、横浜市がカジノ誘致先とする山下ふ頭の現地調査と、カジノ誘致に反対を表明している横浜港運協会の水上裕之常務理事から聞き取りを行いました。野党議員は、横浜市港灣局の職員から山下ふ頭で同地の再開発計画について説明を受け、横浜港運協会などがカジノ誘致に反対していることに触れ、「反対の声が上がっているが、計画は見直すのか」と質問。横浜市の職員は「話し合っていく」とだけ答えました。

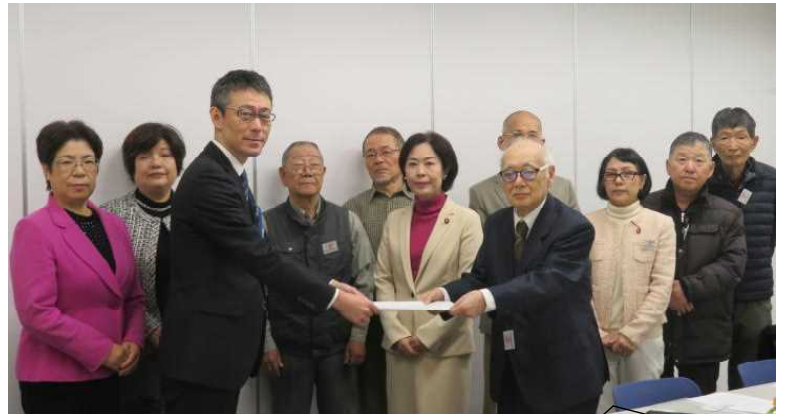
日本共産党の塩川鉄也同副本部長・衆院議員は「依存症の問題、反社会勢力の問題があり、カジノは横浜にまったくふさわしくないという声が市民的な声だと実感した」と語りました。はたの君枝衆院議員が参加しました。

# “開かずの踏切”解消を 小田急電鉄へ要望

「小田急線複々線化・地下2層化をすすめる会」は1月24日、小田急電鉄本社を訪れ、小田急線向ヶ丘遊園駅－新百合ヶ丘駅間の線路の複々線化実施などを求める要望書を提出しました。はたの議員と、勝又光江、赤石博子、井口真美の、党川崎市議団が同席しました。

要望書では、“開かずの踏切”対策や、各駅停車の増便などの利用者の要望に応えるためには、上りと下りの複線を、地下2層に分けて敷設する複々線化が必要だと指摘。ホームドアの設置などと併せて、実施を求めました。

対応した同社担当者は、ホームドアは2～3年で設置する方針であることや、踏切の遮断時間をなるべく短くしていることを説明しましたが、複々線化の実施については明言しませんでした。



小田急電鉄に要望書を渡す、はたの議員(中央)、川崎市議団、「すすめる会」のみなさん=1月24日

# 30市町の要望届ける 党千葉県委員会、8府省と交渉



要望書を手渡す、(右から)かばさわ洋平千葉市議、椎葉氏、はたの議員、さいとう氏、浅野氏ら  
=12月23日、国会内

党千葉県委員会は12月23日、台風被害への義援金を届けた千葉県内30市町からの要望をもとに、8府省と25項目にわたって交渉しました。はたの議員、さいとう氏、浅野史子衆院千葉5区予定候補、椎葉寿幸県副委員長、椎名史明衆院千葉11区予定候補、県内市町議員、被災住民らが参加しました。

参加者から「災害救助法による、家屋の応急修理の手続きなどがわかりにくい」(千葉市緑区市民)、「非常時しか使わない防災無線でなく、日常的に使える防災ラジオを」(山武市民)、「農業の共済加入が条件のため、県の支援を申請していない被災農家が2割超にのぼる。このままでは離農してしまう」(八街市議)、「多古中央病院は必要、病床削減計画を撤回してほしい」(多古町議)、「避難所である小学校のトイレが和式で、使えない高齢者が多い。洋式化改修予算を増やしてほしい」(大網白里市民)などの声が出されました。

はたの議員は「被災者が希望を持って暮らし続けられるように、支援を強化してほしい」と求めました。